

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号
----	---------------------------------------	----	---

本票作成	部署名：倉敷国家石油ガス備蓄基地事務所 工務安全課
------	---------------------------

主たる業種	分類コード	99	業種名：分類不能の産業
-------	-------	----	-------------

事業の概要	国家石油ガスの備蓄事業
-------	-------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	倉敷国家石油ガス備蓄基地	岡山県倉敷市潮通二丁目1番2号

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 25 年度)	(平成 27 )年度排出量	目標年度(平成 30 年度)
	4,764 t CO <sub>2</sub>	4,425 t CO <sub>2</sub>	4,526 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 27 )年度排出量
	①	倉敷国家石油ガス備蓄基地	4,425 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度 ( 5 箇年度)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 27 )年度削減実績	目標削減率 目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	7.1 %	5.0 % <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 27 )年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・省エネ法の管理基準に基づき、毎月エネルギー使用状況を確認しながら取り組んだが、設備の増設及びその設備の試運転に伴い、石油ガス及び産業用蒸気の使用量が、昨年度（H26年度）に比較して約7%増加した。  
 しかし、電力量の使用については昨年度に比べ約1%の減となっており、また排出係数の変更もありTOTALでは平成26年度比約-7%となり、温室効果ガス排出量の削減が出来た。  
 ・特に回転機器の稼働時間管理を適正に行い、省エネに努めた  
 ・一部の照明設備でLED化を実施した

**【推進体制】**

昨年に引き続き下記の項目を実施する

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備し、エネルギー使用状況を確認する
- ・省エネに関して情報交換を行うとともに、事務所の節電（空調・照明）を推進する

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
倉敷国家石油ガス備蓄基地	<p>(平成27年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脱気塔充填物の交換による回転機械の稼働時間の短縮による電力使用量の削減（昨年度からの継続）</li> <li>・空調機の定期点検（フィルター清掃）の実施による能力の確保（昨年度からの継続）</li> <li>・回転機械の運転時間管理及び定期保全管理により電力使用量の削減（昨年度からの継続）</li> <li>・昼休憩時には事務所照明の消灯を徹底（昨年度からの継続）</li> <li>・新設照明設備のLED化（2台の実施）</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照明設備のLED化を検討（更新が必要になった機器より対応）</li> <li>・回転機械における低容量化の検討（底水排水処理用ポンプについて平成29年度取替え目標で計画）</li> <li>・空調設備の設定温度の適正化（リモコンへの表示 夏期：28℃、冬期：18℃）</li> <li>・夜間照明（常時点灯）の削減検討</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--